

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	れもんキッズ石井		
○保護者評価実施期間	令和7年11月17日		～ 令和7年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和7年11月17日		～ 令和7年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月14日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育を中心に実施しており、児童一人ひとりの特性や発達段階、ニーズに応じた支援を行うことができている。	個別支援計画に基づき支援内容を検討し、専門職からの助言を受けながら児童にあった支援方法を取り入れている。また、職員間で情報共有を行いながら支援を進めている。	引き続き専門職との連携や職員間での振り返りを行いながら、支援内容の見直しや工夫を行い、より効果的な個別療育に繋げていく。
2	日々の送迎時のやり取りを通して、保護者と子どもの様子を共有しながら支援を行うことができている。	送迎時の口頭での伝達や必要に応じた連絡手段を活用し、活動内容や子どもの様子について保護者へ丁寧に伝えるよう心がけている。	保護者からの相談にも丁寧に対応するとともに、今後も情報共有の機会を大切にし、安心して利用してもらえる関係づくりを継続していく。
3	安心して通所できる環境づくりに努めており、保護者からも安心して通わせられるとの声が見られる。	安全面への配慮や職員間での情報共有を行いながら、子どもが落ち着いて過ごせる環境づくりを意識して支援を行っている。	今後も安全管理の意識を高めるとともに、子どもの特性に応じた環境調整を行いながら、安心して通える環境の維持・向上に努めていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育を中心としているため、集団活動の中で学ぶコミュニケーションや社会性を育む機会は多くない。	一人ひとりのニーズに応じた個別療育を行っていることから、集団での活動を取り入れる機会が少ない状況である。	個別療育の良さを大切にしながら、必要に応じて同時間帯に複数児童での療育を行うなど、小集団での関わりの機会について検討していく。
2	個別療育のため、対応できる人数に限りがあり、利用希望があっても十分に受け入れができない場合がある。	個別での療育を行うため、支援時間や職員配置の関係から利用枠が限られている。	支援の質を維持しながら、支援体制や時間設定の工夫を行い、可能な範囲で利用ニーズに対応できるよう検討していく。
3	地域との交流や地域資源を活用した活動の機会は多くない。	日々の療育活動を中心とした支援となっており、地域との関わりを目的とした活動を十分に実施できていない状況がある。	子どもが地域の環境に触れる機会を大切にし、無理のない範囲で地域との関わりを検討していく。